

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-2-1		事業名	落葉から環境保全と地域交流事業(香りとみどりにあふれたまちづくり)
担当	南区土木部維持管理課 川口 581-3811			
全体計画				
事業内容	当区では落葉・剪定枝配布と腐葉土製作を協働で行う「みどりのリサイクル事業」が既に軌道に乗っており、今回、これらの事業の拡大を目指し、区内全域を対象に住民・学校等との連携により、「落葉から堆肥へ」を合言葉に、落葉の堆肥等の利用促進を図るための施設の設置や『落葉の講習会』等環境教育を進める。 また、宿根草・香りのある草花(ハーブ)を主体とした循環型モデルガーデンを地域住民の協力を得ながら製作することで、地域住民の連携を促進する。 具体的な取組みとして、学校等において、初年度は落葉収集と環境授業、今年度は腐葉土化実践、3年目は腐葉土利用した花・ハーブの育成・植栽を行う。		<年度別の事業内容>	
			平成19年度(実績) ・落葉配布・堆肥化公園:5ヶ所 ・落葉堆肥化に関わる講習会等:5回 平成20年度(予定) ・落葉配布・堆肥化公園:11ヶ所 ・落葉堆肥化に関わる講習会等:5回 平成21年度(予定) ・落葉配布・堆肥化公園:10ヶ所 ・落葉堆肥化に関わる講習会等:5回 22年度 ・落葉配布・堆肥化公園:10ヶ所 ・落葉堆肥化に関わる講習会等:5回	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	落葉集積・配布公園 ・泉町公園 ・真駒内第一公園 堆肥づくり ・ときわアートの丘公園 ・みすまい星の子公園 ・西藤野むつみ公園 落葉の堆肥化に関わる講習会等 ・落葉の会(エドウィン・ダン記念公園) 3回 ・定山溪中学校 1回 ・真駒内曙小学校 1回 モデルガーデン ・定山溪中学 ・ミソマップ会館前 ・藤野西通 宿根草預託、落葉ヤードづくり等 ・北海道文教短大明清高校		落葉集積・配布公園 ・藤野そよかぜ公園(街区) ・藤野さわやか公園(街区) ・真駒内めぐみ公園(街区)ほか3公園等 堆肥づくり ・石山小学校 ・北海道文教大学明清高校 落葉の堆肥化に関わる講習会等 ・みそマップ会館 1回 ・落葉の会(エドウィン・ダン記念公園) 3回 ・老人福祉センター等(南区:1回、手稲区2回) ・真駒内曙小学校 1回 モデルガーデン製作 ・エドウィン・ダン記念公園 ・石山小学校 ・定山溪中学校 ・定山溪小学校	
事業場所	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)	
	落葉集積・配布公園 ・十五島公園(近隣) ・中ノ沢公園(近隣) ・常盤公園(地区) 堆肥づくり ・藻岩高校 ・農地(真駒内:有機農業用資材として) 落葉の堆肥化に関わる講習会等 ・落葉の会(エドウィン・ダン記念公園) 3回 ・環境教育講座(南沢えいと公園、藻岩下公園) ・落葉の講習会(予定) モデルガーデン ・藻岩高校 ・エドウィン・ダン記念公園			
事業規模				
案件数				
等				

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	4-2-1			事業名	落葉から環境保全と地域交流事業(香りとみどりにあふれたまちづくり)		
達成目標の状況							
項 目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
(落葉から環境保全と地域交流事業)参加団体数	2団体	5団体	10団体	13団体	15団体	15団体	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 石山小学校では、循環型モデルガーデン(ハーブガーデン)と堆肥の製作をを実施したが、同校の母親を中心とした「カモミールの会」が花壇の製作に参加し、地域全体で花壇作りに取り組んだことから、学校を中心とした地域内の連携が促進された。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし)</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 落葉をより良い堆肥にするための「落葉の講習会」の開催や、ハーブ等植物に詳しい「ハーブコーディネーター」に花壇づくりの講師を依頼するなど、地域住民が参加しやすい環境づくりに勤めている</p>							
評価(成果)				課題			
<p>ハーブ等を主体としたガーデニングの紹介や講座の開催を通して「ハーブコーディネーター」などの地域の新たなリーダーが生まれている。また、公共用地にハーブを主体とした花壇づくりを通して地域内の交流が、学校の花壇作りでは世代間交流が活性化しつつある。</p> <p>落葉の利用・堆肥化については、落葉ヤードの設置により、今までゴミとして出されたいものが土壌改良剤として家庭菜園や花壇に利用される利点や、落葉処理に伴う集積・運搬・投棄の費用の節減に寄与している。</p>				<p>今後、落葉ヤードの設置箇所を増やそうとしているが、資材が焼き丸太とコンパネであるため、その耐用年数が短く、取替え時期が比較的早いことから、事業継続の観点で、安価で耐久性のある施設の改良が必要となっている。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>地域から出たものは地域に還すという「落葉のリサイクル事業」は、環境保全及び教育の面において十分に推進する価値があり、落葉での堆肥づくりやそこから生まれる堆肥を利用した花壇づくりは、地域や学校の参加による地域内及び世代間の交流が促進されるなど地域コミュニティの活性化に効果があることから、当事業を継続する。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		4-2-1		事業名	落葉から環境保全と地域交流事業(香りとみどりにあふれたまちづくり)					
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	600	2,100	2,100	2,200	7,000				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
		一般財源	600	2,100	2,100	2,200	7,000			
予算	事業費	600	2,100	2,100	-	4,800				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0		0			
		市の債	0	0	0		0			
		その他の	0	0	0		0			
		一般財源	600	2,100	2,100		4,800			
実績	事業費	799	2,330	-	-	3,129				
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0			
		市の債	0	0			0			
		その他の	0	0			0			
		一般財源	799	2,330			3,129			
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)					74.7%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
(全体)										
[19年度] 予算額600千円に対して、決算が799千円と199千円超過した理由は、参加団体への宿根草等草花の支給株数が予定数量を大幅に上回ったことによる。										
[20年度] 予算額2,100千円に対して、決算額が2,330千円と230千円超過した理由は、参加団体への宿根草等草花の支給が予定数量を上回ったことによる。										
[21年度] 予定通り										